

平成27年度ESD活動支援センター運営等業務について

業務の背景と目的

平成26年度に『「国連持続可能な開発のための教育（以下「ESD」という。）の10年」後の環境教育推進方策懇談会』（以下「懇談会」という。）や『「国連ESDの10年」関係省庁連絡会議』（以下「省庁連絡会議」という。）において10年間の成果や2015年以降のESDの推進に向けた課題等が整理された。また、同年11月には岡山市・名古屋市において開催された「ESDに関するユネスコ世界会議」および関連の会議において、「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム」（以下「GAP」という。）の開始、「あいち・なごや宣言」の採択がなされた。そして、平成27年3月、省庁連絡会議において『我が国における「ESDに関するGAP」実施計画』（以下「国内実施計画」という。）が策定され、平成27年度以降もESDの推進に引き続き取り組むことが確認された。

これら報告書および宣言や計画では、ESDの推進を図る上での課題として、

- ・未だESDの取組が一部の地域や主体に限られていること
- ・優れた実践事例が各主体のネットワークの範囲に留まり、分野を超えた交流が進んでいないこと、等が指摘されている。

本業務は、各地域で根付いてきた取組を全国各地に広げていくために、ESDの推進のための各地域をつなぐハブとしての全国的なネットワーク機能の体制整備を行い、ESDに関する国内外の情報収集・発信、人材育成や教材・プログラムの開発のための情報収集等、地域と地域や各ステークホルダー間の連携・ネットワークを構築することによって、国内におけるESDの一層の推進を図ることを目的としている。

業務の実施体制

本業務の遂行に当たっては、多様な主体との協働・連携が重要であることに鑑み、(特非)持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)は、アジアにおけるESD推進やユネスコスクール支援等実績のある(公財)ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)と業務提携し、ESD-JおよびACCUが各々構築してきた各主体とのネットワークを活用し、効果的、効率的に本業務を実施するために共同体制で取り組んだ。

業務の概要

平成27年度は、全国的なネットワークのハブとなる 1. ESD活動支援センターを設置し、2. ESD活動に関する相談・支援窓口の開設、3. ESD活動に関する国内外の情報等の収集及び一元的な発信等、4. ESD活動に関するネットワークの構築、5. ESD活動に関する地域ニーズの把握及び検討のための準備について下記のとおり取り組んだ。

1. ESD活動支援センターの設置・運営

多様な主体が参画・連携し、ESD活動に取り組む地域の活動拠点の形成を推進・支援するとともに実践者の声を踏まえ、情報の一元的な発信、ネットワークの構築、地域

の活動支援、国際的な情報の発信や交流支援等を担う「ESD 活動支援センター」を2016年2月1日、東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山地下1階 に設置した。また、本格的な業務開始に備え、OA 機器類の整備、電話及び LAN 回線構築、什器・備品等を配置し、オフィス環境を整えた。

2. ESD 活動に関する相談・支援窓口の開設

開所時間を、月曜日から金曜日の 10 時から 18 時までとし、常時人員を配置する仕組みを整え、開設後の本格的な相談・支援体制への移行に備えた。

3. ESD 活動に関する国内外の情報等の収集及び一元的な発信等

1) パンフレット

ESD 活動支援センターが設立されたことを周知するためのパンフレットを作成し（A5 仕上がり、2 つ折り、両面カラー、500 部）、ESD を推進する実践者等に配布すべく、全国 8 ブロックの地方環境パートナーシップオフィス（地方 EPO）および地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）に各 50 部送付し、配布依頼を行った。

2) ロゴ

ESD 活動支援センターのメディア（ウェブサイト、パンフレット、名刺等）に使用するロゴに関して、デザイナーに依頼し 3 候補を作成、環境省に提案した。

3) ウェブサイト

ESD 活動に関する国内外の情報等の収集及び一元的な発信する仕組みとして、ESD 活動支援センター独自のウェブサイトを開設することとし、H28 年度 4 月上旬のオープンを目指し、準備を行った。主な作業は、ウェブサイトの基本的な考え方の整理、果たすべき機能、扱うコンテンツの整理、トップページのデザイン、ESD に関連する既存の情報サイトのまとめ、セキュリティ対策の検討等である。

4. ESD 活動に関するネットワークの構築

広域ブロックにおける ESD 実践の現状にもとづいて、ESD 推進ネットワークの具体化に向け ESD 活動支援センターが行おうとしている主要事業について、具体的な意見交換をおこなうために、地域の ESD 実践の現状を把握している専門家へのグループヒアリングとして「広域ブロックにおける ESD 推進ネットワーク形成に向けた意見交換会」を開催した。意見交換会では、(1) 目指すべきネットワーク (2) 地域の実情や ESD 推進拠点の状況 (3) 今後の ESD 活動に関するネットワークの具体化に向けた方針 等について議論を行った。(3) では、ESD 活動支援センターが行おうとしている主要事業（ウェブサイト、ユースレポーター、全国フォーラム、中期計画案作成等）について意見をいただいた。

5. ESD 活動に関する地域ニーズの把握及び検討のための準備業務

ESD の推進に取り組んできた自治体・企業の担当者、学識経験者、地方で環境保全活動に取り組んでいる専門家（15 名程度）からなる ESD 活動支援企画運営委員会（以下「企画運営委員会」という。）開催に向け、企画運営委員会に係る設置要綱を定めるとともに、専門家（15 名程度）に対し企画運営委員会の委員委嘱手続き、第 1 回企画運営委員会の日程調整を行った。

15 名の専門家からは承諾を得た。また H28 年度第一回企画運営委員会は 5 月 23 日（月）13:00～15:00 に確定した。